

2007年度

科目名 宗教学 A	対象学科・学年 人間人社1回生	担当者 貫名 謙
授業テーマ 日本仏教と、親鸞の説いた仏教		
授業の概要と目標 本学は「大乗仏教の精神と、真宗の宗祖・親鸞聖人の御教え」を理念として建てられた大学です。その理念を具現化するのが、宗教行事（「お花まつり」や「報恩講」など）と、学問的体系として展開される「宗教学」（授業）です。そこで授業では、先ず、宗教の構造を学ぶことによって、宗教が持つ特性を見ていきます。これから的人生において何らかの宗教と関わりを持った場合、その本質を見極める能力を育成するものです。次に、インドで起こった仏教が、中国へと伝承されていった経緯を見ていきます。		
評価方法 筆記試験（60%）、出席状況・授業態度（40%）の総合評価で行います。		
テキスト 経験論の宗教学	著者 荻野 勝行 貫名 謙	出版社 杉山書店
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 ① はじめに～「宗教学」の授業を始めるにあたって～ ② 「宗教」の発生・展開と機能 ③ 宗教の類型 ④ 祈り ⑤ 宗教的行为 ⑥ 宗教と死生観 ⑦ 科学と宗教 ⑧ 釈尊の生涯 ⑨ 仏教の教えの基礎① ⑩ 仏教の教えの基礎② ⑪ 大乗仏教の興り ⑫ 大乗仏教の教え ⑬ 浄土教の特徴 ⑭ 阿弥陀仏とその願い ⑮ 試験		